

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mailで [jimu@geppou.asj.or.jp](mailto:jimu@geppou.asj.or.jp) 宛、なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 迄お送り下さい。

## 人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など)
2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

## 京都大学基礎物理学研究所教官

1. 教授 1名
3. 宇宙物理学 (理論)
5. (1) 決定後できるだけ早い時期を希望 (決定は2003年1月下旬)  
(2) 5~10年
7. (1) 履歴書, (2) 発表論文リスト (主要論文5点以内に印), (3) 主要論文別刷 (コピー可), (4) 研究歴, (5) 就任した場合の研究計画, (6) 着任可能時期 [以上各2通], (7) 他薦の場合は推薦書
8. 2002年10月31日(木) 必着
9. (1) 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学基礎物理学研究所長  
益川 敏英  
(2) 同研究所 藤田 Tel. 075-753-7009  
[fujita@yukawa.kyoto-u.ac.jp](mailto:fujita@yukawa.kyoto-u.ac.jp)
10. 封筒に「教授応募(推薦)書類在中」と朱書のこと。提出書類は原則として返却しません。

東京大学大学院理学系研究科  
天文学教育研究センター教官

1. 助教授 1名
2. (1) 東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センター  
(2) 東京都三鷹市大沢2-21-1
3. 観測天文学
4. 当センターは電波天文学, 銀河天文学, 恒星物理学の3部門および木曾観測所で構成されています。これらの研究部門と連携をとりつつ研究を進められる方を求めます。また天文学専攻の専任教官として大学院での指導・教育にも携わっていただきます。
5. 採用決定後なるべく早い時期
6. 博士の学位あるいはそれと同等の研究歴をもつ方
7. (1) 履歴書(写真添付), (2) これまでの研究概要, (3) 業績リスト, (4) 主要論文別刷 (3編以内), (5) 着任後の研究計画と抱負, (6) 自薦の場合は本人について意見を述べられ方2名の氏名と連絡先, (7) 他薦の場合は推薦書の他に上記事項(1)~(5)の書類。
8. 平成14年9月27日(金)必着
9. (1), (2)  
〒181-0015 東京都三鷹市大沢2-21-1  
東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センター センター長 吉井 謙  
Tel: 0422-34-5027 Fax: 0422-34-5041  
E-mail: [yoshii@ioa.s.u-tokyo.ac.jp](mailto:yoshii@ioa.s.u-tokyo.ac.jp)
10. 封筒に「助教授応募書類」と朱書きし、直接持参するか、簡易書留で郵送。

## 京都大学大学院 理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻教官

1. 助教授または助手 1名
2. 物理学・宇宙物理学専攻物理学第二分野, 天体核物理学研究室
- 3, 4. 天体核物理学
5. 決定後なるべく早い時期
7. ○履歴書, ○業績リスト, ○主要論文別刷5編程度, ○現在までの研究概要, ○着任後の研究計画, ○着任可能時期 ○希望する職種(助教授または助手)
8. 2002年10月15日(火)
9. (1) 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学大学院理学研究科物理学第二教室

主任 川合 光  
 (2) 同上 中村卓史  
 Tel: 075-753-3831

10. 提出書類は原本とそのコピーを2部同封し、封筒に「天体核人事応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付のこと。

### 東京大学大学院理学系研究科天文学専攻教官

当専攻では、任期3年(延長不可)の助手を採用することになりました。任期付きポストであることを御理解の上、相応しい方の御推薦をお願い致します。募集受け付けは他薦のみと致します。

1. 助手 1名
2. (1) 天文学宇宙物理学大講座  
 (2) 東京都文京区本郷 7-3-1
3. 天文学
4. 天文学専攻には現在、銀河天文・観測的宇宙論、超新星爆発・宇宙化学進化論、太陽恒星物理・日震学、赤外線天文学、太陽物理学、恒星系力学等の研究グループがあります。これらのグループと連携を取りつつ、研究を進められる方を求めます。
5. (1) 平成14年11月1日予定  
 (2) 3年
6. 今回の応募は、他薦に限ります。被推薦者の資格は、博士号取得者またはそれと同等以上の業績を有する者とします。
7. 推薦者より以下の書類をお送り下さい。  
 (1) 推薦書、(2) 履歴書、(3) これまでの研究概要と今後の研究計画、(4) 業績リスト
8. 平成14年9月30日必着
9. (1), (2)  
 〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1  
 東京大学大学院理学系研究科天文学専攻  
 専攻長 野本憲一  
 Tel: 03-5841-4256 Fax: 03-5841-7644  
 Email: nomoto@astron.s.u-tokyo.ac.jp
10. 封筒に「助手推薦書類在中」と朱記の上、持参もしくは書留で郵送下さい。
11. 任期の延長は出来ませんが、期間満了前に退職・転出することを妨げるものではありません。

### 研究助成

#### 第5回大学婦人協会・守田科学研究奨励賞 受賞者候補者募集要項

趣旨：本賞は、化学教育者・故守田純子氏から遺贈された資金をもとにして、自然科学を専門とする女性科学者の研究を奨励し、科学の発展に貢献する人材を育成する事を目的として、1998年の設けられたものです。

対象：自然科学分野において、優れた研究成果をあげており、科学の発展に貢献することが期待される40才未満(応募締切日現在)の女性科学者を対象としています。

受賞件数：年二件以内。賞状および副賞50万円を贈呈します。

提出書類：1. 推薦状、2. 履歴書(写真添付)、3. 研究業績リスト、4. 主要な論文別刷り、5. 研究題目とその概要および今後の展望と抱負を記したものの(A4版2頁以内)

応募締切日：2002年11月30日(土)(必着)

書類送付先及び連絡先：社団法人 大学婦人協会  
 〒106-0017 東京都新宿区左門町11番6の101  
 Tel: 03-3358-2882 Fax: 03-3358-2889

#### 2003年度「女性科学者に明るい未来をの会・猿橋賞」の受賞候補者及び研究助成候補者の推薦依頼

「女性科学者に明るい未来をの会」から標記の依頼が届いております。詳細は下記事務所までお問い合わせ下さい。

#### 〈猿橋賞〉

1. 本賞は自然科学の分野で、顕著な研究業績を取めた女性科学者(ただし、下記の推薦締切日で50歳未満)に贈呈します。
2. 本賞は賞状とし、副賞として賞金(30万円)をそえます。
3. 本賞の贈呈は1年1件(1名)です。
4. 所定の用紙に受賞候補者の推薦対象となる研究題目、推薦理由(400字程度)、略歴、主な業績文献リスト、主な論文別刷り10編程度及び推薦者氏名・肩書きをそえて、本会事務所までお送りください。
5. 締切は2002年11月1日(学会必着)。

6. 第23回の賞贈呈式は、2003年5月、東京において行う予定です。

#### 〈研究助成〉

1. 海外のシンポジウム等に出席し、論文を発表する女性研究者に対し、研究助成をいたします。
2. 助成金は1件10万円とし、年に数件とします。
3. 所定の用紙に推薦対象者（各締切日において満40歳未満）の略歴、研究業績、国際会議名（主催団体、開催場所、年月日）、発表論文題目、推薦理由等を記入して、下記事務所までお送りください。
4. 締切は2002年11月1日と、2003年4月1日の2回。

事務所：女性科学者に明るい未来をの会

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北4-29-2-217

Tel / Fax: 03-3330-2455

★提出用紙は日本天文学会事務所に用意してあります。

#### 7. 申請書の申込方法

申請書のお申込みは、E-mailもしくは、FAXにて郵便番号、住所、氏名、電話番号および希望部数を明記の上、ご連絡下さい。また、申請書はホームページからもダウンロードできます。

#### 8. その他

申請条件、選考方法、決定通知、助成の対象となる研究者、交付方法、助成交付金、決定後の主な手続き等、その他等はホームページを参照下さい。

財団法人日本科学協会 笹川科学助成係

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2

日本財団ビル5F

Tel: 03-6229-5365 Fax: 03-6229-5369

E-mail: jss@silver.ocn.ne.jp

URL <http://www.jss.or.jp>

### 研究助成結果

#### 平成15年度 笹川科学研究助成募集要項

##### 1. 趣旨

「笹川科学研究助成」は、萌芽性、新規性および独創性のある内容を持った研究を奨励し、他からの研究助成が受け難い研究を全国的に掘り起こすとともに、意欲に満ちた優れた若手研究者の育成ならびにその研究に対する助成を目的とします。

##### 2. 対象となる領域ならびに申請区分

人文科学、社会科学および自然科学（医学を除く）、またはそれらの境界領域に関する研究で、上記領域を次の申請区分に分けます。

(1) 一般科学研究

(2) その他（ホームページ参照）

##### 3. 研究計画および助成額

研究計画は、単年度（平成15年4月1日から平成16年2月10日まで）内で研究が完了し、成果をとりまとめられるものとします。助成額は1研究課題あたり年間100万円を限度としています。尚、平成14年度は387件の研究計画に助成致しました。

##### 4. 募集対象

平成15年4月1日現在、35才以下の者であって、次の条件を満たす者。ホームページを参照下さい。

##### 5. 申請の方法

所定の「平成15年度笹川科学研究助成交付申請書」を用いて下さい。なお、申請書の書式はホームページをご覧ください。

##### 6. 募集期間

平成14年9月2日（金）から平成14年10月15日（水）《必着》までとします。

#### 第33回（平成14年度）三菱財団自然科学研究助成

研究主題：大気位相補償法の開発とこれを応用した活動銀河中心核のミリ波高分解能観測

代表研究者：東京大学大学院理学系研究科附属天文学教育研究センター・助教 河野孝太郎

助成金額：700万円

### 研究会・集会案内

#### 干渉計サマースクール2002開催のご案内

国立天文台野辺山宇宙電波観測所では「干渉計サマースクール2002」と題して、電波干渉計やVLBIの観測原理の講義やデータ処理実習の教習コースを実施します。これから干渉計で観測をしたいという方の参加を期待します。

日時：2002年9月11日（水）～14日（土）

場所：国立天文台三鷹（東京都三鷹市大沢2-21-1）

および野辺山宇宙電波観測所（長野県南佐久郡南牧村野辺山）

内容：電波干渉計の原理と観測方法についての講義とデータ解析実習

- ・ 干渉計観測の意義
- ・ 電波干渉計で得られた成果
- ・ 電波干渉計の原理
- ・ 電波干渉計を構成する要素
- ・ 観測データの較正と解析
- ・ 干渉計データ解析実習

主催：国立天文台電波天文学研究系

旅費・宿泊費の支給：参加者に限られた範囲内で旅費および宿泊費の補助を支給できます。

対象：これから電波干渉計を使った観測を始めようという研究者・大学院生。

参加の申し込み：

ウェブページ <http://vsop.mtk.nao.ac.jp/SS2002/> からオンライン上で申し込むか、下記問い合わせ先に電子メールかFAXで申し込んでください。

申し込み期限：2002年8月30日

問い合わせ先：

国立天文台 ALMA 計画準備室 羽島 昌子

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

Tel: 0422-34-3843 Fax: 0422-34-3764

e-mail: [ss2002@nro.nao.ac.jp](mailto:ss2002@nro.nao.ac.jp)

世話人：亀野誠二（国立天文台）

河野孝太郎（東京大学）

月曜が祝日の場合翌日）を除く午前9時から午後5時まで。

（席に余裕のある場合には当日参加も受け付けます。）

参加費：無料

対象：どなたでも参加できます。

問い合わせ先：

（講演会について）

国立天文台 ALMA 計画準備室

Tel: 0422-34-3843 Fax: 0422-34-3764

<http://www.nro.nao.ac.jp/alma>

（参加申し込み・会場などについて）

仙台市天文台

Tel: 022-216-4463 Fax: 022-216-4464

<http://www.astro.city.sendai.jp>

世話人：服部 誠（東北大学）、松尾 宏（国立天文台）、

宮脇亮介（福岡教育大学）

## 会務案内

.....  
2002 年度秋季総会開催のお知らせ  
.....

## 正会員各位

社団法人 日本天文学会 理事長 田原博人

## 2002 年 ALMA 公開講演会

### 天文学講演会「ビッグバンと宇宙の進化を探る」

主催：国立天文台

主催：日本天文学会，東北大学理学部天文学教室，

仙台市教育委員会，仙台市天文台

日時：平成 14 年 10 月 19 日(土)

13 時開場 13 時 30 分開会 17 時閉会

会場：仙台市天文台 仙台市青葉区桜ヶ岡公園 1-1

内容：

ALMA について（はじめに）

松尾 宏（国立天文台）

宇宙論研究の最前線

二間瀬敏史（東北大学）

アンデスの山奥から銀河とブラックホールの誕生に迫る

河野孝太郎（東京大学）

（多くの質問にお答えする時間を設定しています）

参加方法：

平成 14 年 9 月 1 日(日)より平成 14 年 10 月 18 日(金)まで電話による参加申込を受け付けます。

受け付け先：仙台市天文台（Tel: 022-216-4463）

受け付け時間：仙台市天文台の定休日（月曜日、但し、

## 一 綴じ込みの返信用葉書で 10 月 1 日(火)

までに到着するようご投票を！一

下記の通り 2002 年度秋季総会を開催いたしますので、ご出席下さるようご案内申し上げます。総会には本会の最高決定機関で、総会成立には正会員の 5 分の 1 以上の出席が必要です（定款第 42 条）。欠席される場合には、下記の議案をよくお読みの上、次の (1) または (2) のどちらかの対応をして下さい。いずれの場合も、総会出席とみなされます。

(1) 綴じ込みの総会返信用葉書（以下「葉書」と呼ぶ）を用いて賛否の意志を表明する。

(2) 他の出席予定者の正会員に表決権の行使を委任する。「葉書」は、10 月 1 日(火)までに天文学会事務所に到着するように投函して下さい。「葉書」には切手を貼る必要はありません。

## ○「投票および委任状の書き方」

総会に出席できない正会員は、綴じ込みの総会返信用「葉書」で議案に対する賛否の意志表示をするか、委任状を提出して下さい。（委任状にはとくに指定の

用紙はありません。)

賛否の意志表示をされる方は、それぞれの議案について「賛成」、「反対」のいずれかを○で囲んで下さい。賛成・反対以外にご意見があれば、所定の欄に記入し、書ききれないときは別紙に書いて事務所宛にお送り下さい。

なお、次の投票は無効となり、出席会員数に数えませんが、

- 1) 所定の「葉書」を用いないもの。
- 2) 会員番号、住所（または勤務先）の両方を欠くもの。
- 3) 氏名を自署していないもの。
- 4) 投票権のない者からの投票（正会員以外の者）。
- 5) 2重投票

次の票は出席会員数には入れるが、棄権票として扱います。

- 1) 賛成、反対の意思表示をせず、意見だけを書いた票。
- 2) 白票。

委任状については、次の場合に無効となります。

- 1) 委任正会員の氏名、自署、捺印のいずれかを欠くもの。
- 2) 委任正会員の会員番号、住所（または勤務先）の両方を欠くもの。
- 3) 被委任正会員の氏名を欠くもの。
- 4) 被委任正会員が総会に出席しない場合。
- 5) 被委任正会員として、単に役職名の“理事長”または“議長”と書かれたもの。

## ○ 2002 年度秋季総会

日時：2002 年 10 月 8 日(火)

(総会出席者確認：16 時 00 分～17 時 30 分，総会開始 16 時 30 分)

場所：ワールドコンベンションセンター・サミット 2 階 (A 会場)

注意：総会出席確認作業の時間中に会場へ入場して下さい。確認された方には表決の時に必要な札をお渡しします。

## ○ 議案と報告 (本誌 443 頁から 447 頁迄参照)

議案：

- 第 1 号議案 新役員 (理事・監事) の承認
- 第 2 号議案 選挙管理委員の承認
- 第 3 号議案 2003 年度事業計画 (案)
- 第 4 号議案 2003 年度収支予算 (案)
- 第 5 号議案 評議員選挙施行細則の改定

報告：

- (1) 非会員の年会登録料について (本誌 448 頁参照)
- (2) 各種委員会委員名簿 (本誌 448 頁参照)
- (3) 第 8 回 IAU アジア太平洋地域会議 (本誌 434 頁参照)
- (4) その他

## 【第 1 号議案】

### 新役員

(任期：2003 年 1 月 1 日～2004 年 12 月 31 日)

#### 1) 理事 (15 名)

理事長：松田卓也

副理事長：祖父江義明，若松謙一

庶務理事：杉山 直，郷田直輝 (留任)

会計理事：関井 隆，松原英雄 (留任)

PASJ 理事：蜂巢 泉

月報理事：土橋一仁

年会実行理事：土居 守

天文教育理事：田 光江

年会開催地理事：谷口義明 (東北大学)，

粟木久光 (愛媛大学)，佐藤修二 (名古屋大学)，

花見仁史 (岩手大学)

#### 2) 監事 (2 名)

尾崎洋二，吉澤正則

## 【第 2 号議案】

### 選挙管理委員

(任期：2003 年 1 月 1 日～2004 年 12 月 31 日)

○ 関本裕太郎，新井宏二，鹿野良平，藤田 裕，安田直樹

## 【第 3 号議案】

### 社団法人日本天文学会 2003 年度事業計画書 (案)

(2003 年 1 月 1 日～2003 年 12 月 31 日まで)

#### 1. 出版物の刊行

##### 1) 欧文研究報告

第 55 巻 1 号～第 55 巻 6 号，隔月刊，A 4 版，発行部数 1,800，年間 1,100 ページ

##### 2) 天文月報

第 96 巻 1 号～第 96 巻 12 号，月刊 B 5 版，発行部数 3400，毎号 52 ページを予定

##### 3) 年会講演予稿集

春・秋季年会の講演予稿集 2 巻，発行部数各 850 を予定

##### 4) ジュニアセッション予稿集

春季年会予稿集発行部数 500 を予定

##### 5) 公開講演会冊子

春秋の公開講演会に配付する冊子各 500 部

#### 2. 年会・総会の開催

1) 春季年會を 2003 年 3 月 24 日(月)から 26 日(水)にわたって，東北大学にて開催する。年会期間中に通

- 常総会とジュニアセッション及び天文教育フォーラムを開催する。また、公開講演会を3月23日(日)に予定。
- 2) 秋季年会を2003年9月25日(木)から27日(土)にわたって、愛媛大学がホストになって開催する。年会会場は、愛媛大学を予定。また、年会期間中に通常総会を開催する。公開講演会は9月28日(日)に予定。
3. 新役員(理事・監事)
- 第1号議案参照
- 1) 理事(15名)  
理事長, 副理事長(2名), 庶務理事(2名), 会計理事(2名), PASJ理事, 月報理事, 年会実行理事, 天文教育理事, 年会開催地理事(4名)
- 2) 監事(2名)
4. 評議員会, 理事会
- 1) 評議員会: 1月中旬, 7月中旬および春・秋季年会中に開催予定
- 2) 理事会: 1月上旬, 7月上旬および春・秋季年会中に開催予定
5. 各賞の授与
- 1) 天体発見賞・天体発見功労賞  
新天体の発見者に対して天体発見賞・天体発見功労賞を授与する。
- 2) 日本天文学会研究奨励賞  
特に顕著な研究成果を挙げた若手研究者を選定し研究奨励賞を授与する。
- 3) 日本天文学会林忠四郎賞  
天文学の分野において独創的で、かつ分野に寄与するところの大きい研究に対して林忠四郎賞を授与する。
- 4) 日本天文学会欧文報告論文賞  
日本天文学会欧文報告に掲載された論文の中から、特に優れた論文の著者に対して欧文報告論文賞を授与する。
- 5) 日本天文学会天文功労賞  
天体観測活動などが、天文学の進歩及び普及に寄与したことに對して授与する。
6. 助成金
- 1) 内地留学奨学金受給者の募集を行い、年内に選考し奨学金を支給する。
- 2) 早川幸男基金により、若手天文研究者の海外に於ける観測、国際共同研究、もしくは研究発表のための渡航費の援助を行う。
- 3) 賛助会員会費により、学生等の年会(春秋)発表者の旅費補助をする。
7. 各種委員会  
(任期: 2003年1月1日~2004年12月31日)  
各種委員会委員長及び委員の氏名は、各種委員会委員名簿の報告を参照して下さい。
- 1) 欧文研究報告編集顧問: 10名
- 2) 欧文研究報告編集委員会: 9名
- 3) 天文月報編集委員会: 8名
- 4) 年会実行委員会: 9名
- 5) 天文教育委員会: 9名
- 6) 選挙管理委員会: 5名
- 7) 林忠四郎賞選考委員会  
(欧文報告論文賞を含む): 6名
- 8) 研究奨励賞選考委員会: 5名
- 9) 天体発見賞選考委員会  
(天文功労賞を含む): 5名
- 10) 内地留学奨学金選考委員会: 5名
- 11) 早川幸男基金選考委員会: 5名
- 12) ネットワーク委員会: 3名
- 13) 天文教材小委員会: 8名
8. 後援事業
- 1) 他の学術団体等の天文関係諸企画に対して、可能な限り後援・協賛をする。
9. その他
- 1) 2004年度科学研究費補助金審査委員の推薦
- 2) 第19期日本学術会議天文学研究連絡委員会委員の選挙
- 3) 2004~2007年度の評議員選挙
- 4) 民間財団等の、研究助成公募および天文学に関連した賞に対して、優れた研究者を学会から積極的に推薦する。
- 5) 日本天文学会創立百周年記念出版事業  
(故後藤三男氏の寄付金による)

【第4号議案】

2003年度収支予算(案)

2003年1月1日～2003年12月31日

〈一般会計〉

[収入の部]

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額
基本財産運用収入	15,000	35,000
基本財産利息収入	15,000	35,000
会 員 収 入	34,370,000	34,770,000
正会員会費	20,160,000	19,800,000
正会員(学生)会費	3,770,000	3,770,000
準会員会費	10,000,000	10,800,000
団体会員会費	440,000	400,000
事 業 収 入	28,117,000	25,074,000
欧文事業収入	15,767,000	13,684,000
購読料	3,799,000	3,385,000
掲載料	7,568,000	6,099,000
別刷代	4,400,000	4,200,000
月報事業収入	4,700,000	4,840,000
購読料	800,000	880,000
別刷代	1,200,000	1,080,000
広告料	2,700,000	2,880,000
年会事業収入	7,650,000	6,550,000
予稿集頒布収入	2,400,000	2,300,000
登録料収入	5,000,000	4,000,000
年会雑収入	250,000	250,000
補助金等収入	8,630,000	7,600,000
刊行物補助金	8,000,000	7,000,000
公開講演会補助金	630,000	600,000
寄付金収入	150,000	0
寄付金収入	150,000	0
印 税 収 入	1,050,000	1,550,000
星座早見印税	1,000,000	1,500,000
その他の印税	50,000	50,000
雑 収 入	1,010,000	810,000
受取利息	10,000	10,000
特別企画収入	500,000	500,000
その他の収入	500,000	300,000
特定預金取崩収入	0	500,000
減価償却預金取崩	0	500,000
退職預金取崩	0	0
当期収入合計(A)	73,342,000	70,339,000
繰越収支差額	18,709,579	13,041,372
収入合計(B)	92,051,579	83,380,372

[支出の部]

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額
事 業 費	53,663,000	55,883,300
欧文研究報告発行事業費	27,263,000	28,003,300
直接出版費	14,965,000	15,896,500
別刷印刷費	2,080,000	1,806,800
人件費	4,000,000	6,700,000
謝金	3,918,000	1,300,000
送料運搬費	2,000,000	2,100,000
消耗品費	200,000	100,000
雑費	100,000	100,000
天文月報発行	18,850,000	19,980,000
直接印刷費	10,520,000	11,200,000
別刷印刷費	800,000	800,000
人件費	1,300,000	1,200,000
謝金	2,330,000	2,780,000
送料運搬費	3,100,000	3,200,000
消耗品費	500,000	500,000
雑費	300,000	300,000
年会事業費	7,550,000	7,900,000
予稿集印刷費	2,000,000	2,100,000
謝金	1,150,000	1,000,000
送料運搬費	300,000	300,000
会場費	1,650,000	2,000,000
消耗品費	300,000	300,000
人件費	1,300,000	1,300,000
雑費	150,000	300,000
旅費交通費	350,000	400,000
保育室運営経費	200,000	200,000
ジュニアセッション経費	150,000	0
管 理 費	18,310,000	19,140,000
人件費	7,500,000	7,000,000
謝金	250,000	700,000
会議費	250,000	300,000
負担金	100,000	150,000
旅費交通費	1,000,000	1,200,000
送料通信費	950,000	1,800,000
什器備品費	1,000,000	500,000
消耗品費	1,100,000	800,000
印刷製本費	500,000	2,500,000
光熱水料費	300,000	250,000
賃借料	2,100,000	2,100,000
保険料	240,000	240,000
諸手数料	500,000	900,000
修繕費	100,000	100,000
書籍購入費	100,000	100,000
特別企画調整費	200,000	50,000
公開講演会諸経費	1,100,000	0
天体発見賞等経費	770,000	0
雑費	250,000	450,000
退職金支出	0	0
徴収不能額	0	0
特定預金支出	708,000	199,500
減価償却預金引当支出	500,000	0
退職引当預金支出	208,000	199,500
予 備 費	19,370,579	8,157,572
当期支出合計(C)	92,051,579	83,380,372
当期収支差額(A)-(C)	-18,709,579	-13,041,372
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0

《特別会計》

(単位：円)

(単位：円)

会計種目	科目	予算額	前年度予算額
学術交流費 会 計	収入の部		
	賛助会員会費収入	1,440,000	1,500,000
	受取利息	100	600
	当期収入合計(A)	1,440,100	1,500,600
	繰越収支差額	1,886,810	1,886,810
	収入合計(B)	3,326,910	3,387,410
	支出の部		
	学術交流費	2,000,000	2,000,000
	雑費	1,000	2,000
	当期支出合計(C)	2,001,000	2,002,000
	当期支出差額(A)-(C)	-560,900	-501,400
次期繰越収支差額(B)-(C)	1,325,910	1,385,410	
内地留学 奨学会計	収入の部		
	受取利息	7,000	11,000
	当期収入合計(A)	7,000	11,000
	繰越収支差額	4,219,218	4,219,218
	収入合計(B)	4,226,218	4,230,218
	支出の部		
	奨学金支出	250,000	300,000
	雑費	1,000	2,000
	旅費支出	10,000	50,000
	当期支出合計(C)	261,000	352,000
	当期支出差額(A)-(C)	-254,000	-341,000
次期繰越収支差額(B)-(C)	3,965,218	3,878,218	
研究奨励賞 会 計	収入の部		
	寄付金収入	100,000	100,000
	受取利息	500	500
	当期収入合計(A)	100,500	100,500
	繰越収支差額	5,721,070	5,721,070
	収入合計(B)	5,821,570	5,821,570
	支出の部		
	研究奨励賞支出	200,000	200,000
	雑費	30,000	20,000
	旅費支出	40,000	40,000
	当期支出合計(C)	270,000	260,000
当期支出差額(A)-(C)	-169,500	-159,500	
次期繰越収支差額(B)-(C)	5,551,570	5,561,570	

会計種目	科目	予算額	前年度予算額
早川幸男 基金会計	収入の部		
	寄付金収入	1,000,000	1,000,000
	受取利息	30,000	50,000
	当期収入合計(A)	1,030,000	1,050,000
	繰越収支差額	23,375,711	23,375,711
	収入合計(B)	24,405,711	24,425,711
	支出の部		
	研究補助支出	2,700,000	2,700,000
	雑費	10,000	10,000
	当期支出合計(C)	2,710,000	2,710,000
	当期支出差額(A)-(C)	-1,680,000	-1,660,000
次期繰越収支差額(B)-(C)	21,695,711	21,715,711	
林忠四郎賞 会 計	収入の部		
	受取利息	20,000	42,500
	当期収入合計(A)	20,000	42,500
	繰越収支差額	16,107,937	16,107,937
	収入合計(B)	16,127,937	16,150,437
	支出の部		
	研究補助支出	300,000	300,000
	雑費	10,000	10,000
	旅費支出	150,000	130,000
	当期支出合計(C)	460,000	440,000
	当期支出差額(A)-(C)	-440,000	-397,500
次期繰越収支差額(B)-(C)	15,667,937	15,710,437	



## 第5号議案

## 評議員選挙施行細則変更に関する提案

提案：評議員選挙施行細則を一部変更し、段階的に評議員の定員を現状の30名から20名に減らす。そのために、次回の評議員選挙より、新たに選ばれる人数を10名と変更する。

2004.1.1.～2005.12.31. 新評議員10名+継続評議員15名=25名

2006.1.1～新評議員10名+継続評議員10名=20名

理由：評議員の総数は定款第24条によれば、15名以上30名以内と定められており、30名に固執する必要はない。また、評議員会をさらに機動的にし、評議員会にともなう学会経費の削減のためにも評議員数の削減が望ましいと考えられるので、評議員数を20名としたい。

## 細則変更案

## 評議員選挙施行細則（昭和50年5月制定）

（平成9年3月変更）

（平成14年10月変更）

第1条 本細則は定款第25条に基づいて総会に推薦する評議員候補者の選挙について必要な事項を定める。

第2条 選挙管理は、評議員会によって正会員中より指名され理事選出期の総会において承認を受けた委員長1名及び委員4名で構成する選挙管理委員会がこれにあたる。同委員の任期は2年とする。

第3条 選挙は互選とし、選挙権及び被選挙権を有する者は公示の時点における正会員とする。定款27条に定める非改選評議員は被選挙権を有しない。

第4条 選挙管理委員会は投票締切日より50日以上前までに発行される学会誌上で公示を行い、25日以上前に有権者名簿及び投票用紙を全有権者に発送する。

第5条 投票は10名以内の無記名連記で行う。

→投票は7名以内の無記名連記で行う

第6条 当選者は得票順に上位15名とする。但し、定款27条の規定により開票結果において上位15名の中に前期よりの再任者が7名を越える場合は8番目以下は無効とし、再任者以外の次点者を順次計15名になるまで繰り上げるものとする。最下位当選者に該当する者が複数の場合は、選挙管理委員会が抽選で順

位を定める。

→ 当選者は得票順に上位10名とする。但し、定款27条の規定により開票結果において上位10名の中に前期よりの再任者が5名を越える場合は6番目以下は無効とし、再任者以外の次点者を順次計10名になるまで繰り上げるものとする。最下位当選者に該当する者が複数の場合は、選挙管理委員会が抽選で順位を定める。

第7条 選挙管理委員会は選出された候補者の名簿を学会誌上に発表する。

## 付 則

1. 2003年における評議員改選選挙においては、定款27条における、「その半数の改選」とは、「2003年12月31日で任期満了となる、15名の評議員を対象とする改選」を示すものとする。

2. 2005年における評議員改選選挙においては、定款27条における、「その半数の改選」とは、「2005年12月31日で任期満了となる、15名の評議員を対象とする改選」を示すものとする。

参考資料：天文学会定款

## 第5章 評議員

## （評議員）

第24条 本会に15名以上30名以内の評議員を置く。

（評議員の選任）

第25条 評議員は別に定める細則に基づいて、正会員相互間でこれを選出し、総会の承認を得るものとする。

（評議員の職務）

第26条 評議員は評議員会を組織し、この定款に定める事項を審議する。

（評議員の任期）

第27条 評議員の任期は4年とし、2年毎にその半数を改選する。改選される評議員の過半数が再選されてはならない。

（評議員の解任）

第28条 評議員が次の各号の一に該当するときは、理事会、評議員会及び総会においておのこの4分の3以上の議決により、理事長がこれを解任することができる。

1. 心身の故障のため職務の執行に堪えないと認められるとき
2. 評議員たるにふさわしくない行為があると認められるとき

[報告1]

非会員の年会登録料について

年会への登録料を以下のように変更することを、2002年6月29日の理事会で決定致しました。実施時期は2003年の春季年会を予定して居ります。

現状：

	会 員	非会員
参加費（基本登録料）	3000円	5000円
講演登録料（一講演のみ）	0円	0円
追加講演登録料	3000円	3000円

改正案：

	会 員	非会員
参加費（基本登録料）	3000円	5000円
講演登録料（一講演のみ）	0円	5000円
追加講演登録料	3000円	5000円

[報告2]

各種委員会委員名簿

(◎と○印は委員長，◎は理事兼務)

(任期：2003年1月1日～2004年12月31日)

1) 欧文研究報告編集顧問 10名

有本信雄，池内 了，大橋隆哉，岡村定矩，  
小山勝二，桜井 隆，佐藤勝彦，祖父江義明，  
土佐 誠，福井康雄

2) 欧文研究報告編集委員会：9名

◎蜂巢 泉，梅村雅之，堂谷忠靖，中井直正，  
花岡庸一郎，花見仁史，嶺重 慎，山田 亨，  
横山順一

3) 天文月報編集委員会：8名

◎土橋一仁，上田暁彦，大石奈緒子，太田耕司，  
亀野誠二，藤田 裕，洞口俊博，増田 智

4) 年会実行委員会：9名

◎土居 守，加藤万里子，児玉忠恭，鈴木知治，  
下条圭美，藤本龍一，百瀬宗武，山村一誠，  
吉川 真

5) 天文教育委員会：9名

◎田 光江，加藤万里子，沢 武文，鈴木文二，  
高橋 淳，坪井陽子，毛利勝廣，望月優子，  
山縣朋彦

6) 選挙管理委員会：5名（議案2号の再掲）

○関本裕太郎，新井宏二，鹿野良平，藤田 裕，  
安田直樹，

7) 林忠四郎賞選考委員会

（欧文報告論文賞を含む）：6名（委員長は互選）  
海部宣男，小山勝二，佐藤勝彦，田原博人，  
野本憲一，松田卓也

8) 研究奨励賞選考委員会：5名

○嶺重 慎，河合誠之，須藤 靖，田村元秀，  
坪井昌人

9) 天体発見賞選考委員会

（天文功労賞を含む）：5名  
○山岡 均，西城恵一，相馬 充，中野主一，  
渡部潤一

10) 内地留学奨学金選考委員会：5名

○西村昌能，大島 修，岡崎 彰，加藤太一，  
河北秀世

11) 早川幸男基金選考委員会：5名

○北本俊二，梅村雅之，柴田一成，半田利弘，  
山田 亨

12) ネットワーク委員会：3名

◎杉山 直，川端拓信，鈴木知治

13) 天文教材小委員会：8名

○柴田晋平，一本 潔，衣笠建三，阪本成一，  
富田彦彦，浜根寿彦，布施哲治，山岡 均

本会へ2002年3月29日から2002年6月28日までの間に入会された方、退会された方をお知らせします。

## [新規加入者]

## ○正会員入会者 (70名)

藤代尚文 東大・理(在学) / 宇宙研  
 大森 実 名大・大学院理(在学)  
 日比康詞 名大・大学院理(在学)  
 市川雄一 (有) アイ・アイ・エイ  
 本山一隆 茨城大・大学院(在学)  
 Budi Dermawan 東大・理(在学) / 国立天文台  
 飯塚 亮 東大・理(在学) / 宇宙研  
 山本哲也 東大・大学院理(在学)  
 山本幹生 宮崎大・大学院工(在学)  
 村田拓也 りくべつ宇宙地球科学館  
 渡邊恭子 名大・大学院理(在学)  
 安東正隆 京大・大学院理(在学)  
 渡辺 伸 東大・理(在学) / 宇宙研  
 亀屋暁人 気象庁  
 白旗麻衣 東大・理(在学) / 宇宙研  
 吉野 彰 東北大・大学院理(在学)  
 須藤 淳 京大・大学院理(在学)  
 河南 勝 鹿児島大・理  
 松柳育子 神戸大・大学院(在学)  
 越智康浩 名大・大学院理(在学)  
 塩田大幸 京大・大学院理(在学)  
 高田順平 山形大・大学院(在学)  
 平松由紀子 東大・理(在学) / 国立天文台  
 小林 浩 東京工業大・大学院(在学)  
 川野羊三 名大・大学院理(在学)  
 白井俊道 Goldman Sachs (Japan) Ltd.  
 折原志穂 大阪教育大・大学院(在学)  
 柳田健之 東大・大学院理(在学)  
 宮脇良平 東大・大学院理(在学)  
 岡部信広 東北大・大学院理(在学)  
 松田有一 東北大・大学院理(在学)  
 永井 洋 東京理科大(在学) / 国立天文台  
 岡 和孝 神戸大・大学院(在学)  
 菅野 愛 東大・大学院理(在学)  
 常定芳基 国立天文台  
 水澤広美 新潟大・大学院(在学)  
 昭和信孝 茨城大・大学院(在学)  
 的川建史 北大・大学院(在学)  
 田村 一 東北大・大学院理(在学)  
 佐藤奈穂子 北大・大学院(在学)  
 猪狩友希 北大・大学院(在学)  
 齋藤智樹 東大・理(在学) / 野辺山  
 平家和憲 愛媛大・大学院(在学)  
 西村知宏 茨城大・大学院(在学)  
 藤田健太 神戸大・大学院(在学)

川上申之介 大阪大・大学院理(在学)  
 馬場大介 名大・大学院理(在学)  
 宮腰 純 東京理科大・大学院(在学)  
 西川貴行 東京理科大・大学院(在学)  
 米沢郁人 茨城大・大学院(在学)  
 水谷有宏 総研大(在学) / 国立天文台  
 白庄司貴之 大阪大・大学院(在学)  
 上田誠治 総研大(在学) / 国立天文台  
 西巻祐一郎 東大・大学院理(在学)  
 後藤純也 愛知教育大・大学院(在学)  
 後藤友嗣 東大・理(在学) / 宇宙線研  
 山田善彦 東大・理(在学) / 国立天文台  
 市坪太郎 東大・理(在学) / 宇宙研  
 伊藤昭治 東大・理(在学) / 宇宙研  
 跡部恵子 東京工業大・大学院(在学)  
 中川友進 青山学院大・大学院(在学)  
 高橋大樹 青山学院大・大学院(在学)  
 海老秀一 千葉大・大学院(在学)  
 杉山慎也 大阪大・大学院理(在学)  
 南谷哲宏 名大・大学院理(在学)  
 安藤浩哉 豊田工業高専  
 持田 智 東大・大学院理(在学)  
 上原一浩 京大・大学院理(在学)  
 阿部圭一 埼玉大・大学院理(在学)  
 松宮 慎 大阪大・大学院理(在学)

## ○準会員入会者 (16名)

青木 尚 富士宮市在住  
 岡 恵子 日本女子大(在学)  
 田中敏夫 放送大・大学院(在学)  
 米倉英晃 飛行開発実験団  
 戸口 豊 (株) STM 総合研究所  
 吉田岳彦 九州大(在学)  
 山本雅之 岩手県立大(在学)  
 黒川一成 松下電器産業(株)  
 安田晃子 お茶の水女子大・大学院(在学)  
 佐藤祐志 精巧鋳金工業所  
 上田 篤 広島大・大学院(在学)  
 中本達也 広島大・大学院(在学)  
 富永慎弥 広島大・大学院(在学)  
 佐藤桂子 広島大・大学院(在学)  
 大野雅功 広島大・大学院(在学)  
 室井恭子 国立天文台

## ○団体会員入会者 (1団体)

朝日新聞社科学医療部

## ○移籍会員 [準→正] (1名)

内藤誠一郎 東大・大学院理(在学)

[退会者]

※正会員退会者 (2名)

広野等子  
島田正章

※団体会員退会者 (1団体)

半田空の科学館

※準会員退会者 (5名)

小助川賛太郎 吉川泰文  
遠峰一男 大坂昌道  
緒方 聖

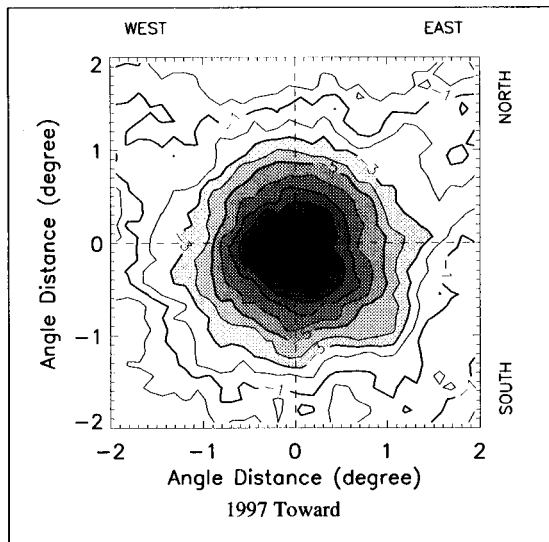
※賛助会員退会者 (1社)

朝日新聞科学部

お詫びと訂正

8月号のエウレカで間違いの箇所がありました。お詫びして訂正致します。

1. 図3の3番目の図。正しい図を以下に掲載します。



2. 396頁左側上から5~6行目

(誤) 91年は外向き, 92年は内向きセクターの..  
(正) 91年は内向き, 92年は外向きセクターの...

3. 396頁右側上から2行目

(誤) 図3は  
(正) 図4は

4. 参考文献10)と11)を入れ替える

(正) 10) Wilcox J.M., Ness N.F., 1965, J. Geophys. Res. 70, 5793

11) 齊藤尚生, 1988年, オーロラ・彗星・磁気嵐 (共立出版), 第8, 9章

編集委員 上野宗孝 (編集長), 伊藤孝士, 上田暁俊, 大石奈緒子, 太田耕司,  
小野智子, 斎藤芳隆, 土橋一仁, 内藤統也, 藤田 裕

平成14年8月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12 啓文堂 松本印刷

定価700円 (本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務室) / 0422-31-5488 (月報・欧文編集) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 E-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp) DTP: 峯尾由紀子